

NISEKO FOOT PATH MAP

ニセコ フットパス



文学・歴史の散歩道

製作・編集：ニセコ・ようていフットパス推進協議会
発行：ニセコリゾート観光協会

フットパスのマナー

- ① 住んでいる人の生活と仕事に敬意を払いましょう。
- ② 火の管理には十分注意しましょう。
- ③ 農地を通るときは畑などに立ち入らないようにしましょう。
- ④ 家畜・作物・農具に手を触れないようにしましょう。
- ⑤ ゴミは持ち帰りましょう。
- ⑥ 野生動物・植物を守りましょう。
- ⑦ 不必要な騒音を立てないようにしましょう。

フットパスを楽しむための注意

- ① 長時間歩くのに適した服装・装備をご用意ください。
- ② コースによってはトイレや休憩場所がない所もあります。事前にご確認ください。
- ③ 一般車両や農業車両の往来には十分に気を付けましょう。
- ④ 農業散布中や農作業中の車両には近づかないでください。

ご利用の際の事故や怪我は自己責任となります。無理をせず安全第一でお楽しみください

アクセス

マイカー
・札幌(中山峠経由)・・・105km/120分
・千歳(美苗峠経由)・・・100km/120分
・小樽(国道5号線)・・・88km/100分

バス
・ニセコバス(小樽/千歳～ニセコ、他町内、近郊)
・北海道中央バス(札幌[高速]/千歳～ニセコ)
・道南バス(ルスツ(洞爺湖方面))

JR
・札幌駅→ニセコ駅
直通 平常時:2時間30分
・新千歳空港駅→ニセコ駅
札幌・小樽乗換え 平常時:約3時間30分
・函館駅→ニセコ駅
長万部乗換え 平常時:約3時間



問い合わせ先

ニセコ・ようていフットパス推進協議会事務局

〒048-1544 北海道虻田郡ニセコ町字元町77番地10 1楼ニセコリゾート観光協会
TEL 0136-44-2420 FAX0136-43-2050

ニセコの自然

羊蹄山やニセコ連峰、昆布岳などの山々に囲まれ、この山々を源とした中小の支流河川が尻別川に合流しています。標高差や地形、土地の利用方法により動植物・昆虫の分布も変化するため多様な自然を見ることができます。

ニセコ連峰

ニセコ積丹小樽海岸国定公園の一部。約20kmの山系で、1000mを超える峰頂が10座以上ある。コースから見られる主な山は東からニセコアンヌプリ(1116m)、ニセコ(1080m)、チセヌプリ(1134m)など。

ニセコアンヌプリ(1308m)

ニセコ連山の東端にある最高峰。豊富な高山植物が天然の一大公園をなしている。冬は世界各国からスキーマーが集まることでも有名。

羊蹄山(1898m)

山姿の美しさから日本百名山にも選ばれる秀峰。蝦夷富士とも称される。山頂付近のお花畑をはじめ動植物の種類が豊富で高山植物400余種類、野鳥130種以上が確認されている。

植物



動物



昆布岳(1045m)

名称の由来はアイヌ語のトコポ=ヌプリ(小さなコブ山)といわれている。名無川・ルベシ川・昆布川の源を発している。

鳥



歩く前の参考資料

有島武郎 1878年(明治11年)―1923年(大正12年)

「カインの末裔」「生まれ出づる悩み」など野太(現ニセコ町)や岩内といった、北海道を舞台にした作品を発表。志賀直哉、武者小路実篤などと共に明治43年に創刊した「白樺」に加わったことで、白樺派を代表する3道主義の作家として知られ、代表作は他に「或る女」などがあります。

有島農場

この農場は、武郎の父・武が子供達の将来を想い、「国有未開地処分法」に基づく土地貸下により、広大な農地開墾に着手したものです。戦前、小作料は収穫量の3〜4割にのぼり、小作人は地主への隷属と貧しい生活を強いられました。土地の私有を罪悪と考へた武郎は、父から引き継いだ広大な農場の土地共有による解放を決定します。そして1922年(大正11年)、弥照神社に小作人を集め農場の無償開放を宣言し、当時の社会にさまざまな反響を呼び起こしました。

ニセコ駅周辺

ニセコ駅(明治37年開業)は戦前・戦後初期は農産物の出荷基地として、また戦後復興期には温泉、スキー場の受け入れ玄関口として大変な活況でした。それに伴い駅前の中央通りから本通り(綺羅街道)には旅館や多々の商店、倉庫、劇場などが軒を連ねる賑やかさでした。昭和18年頃の中央通りだけで30〜40の店舗がありました。



大正初期ニセコ駅前

芙蓉橋

それまでの渡し船に代わり、明治38年(1905年)頃に木製の「芙蓉橋」が完成しました。ニセコ市街と曾我〜昆布方面をつなぐこの橋は、その重要な役割と幾度かの流失もあり、数々の逸話が残っています。当時の活況から、この橋を渡る多くの人々や馬車、馬車への往来する姿がしのべられます。現在の橋は昭和37年(1962年)に架け替えられたものです。



大正5年当時の芙蓉橋

文学・歴史の散歩道 (全長10.6km 約3時間20分)

- 凡例**
- 食事・カフェ
 - トイレ
 - ガソリンスタンド
 - ふれあいシャトルバス停
 - ホテル
 - 駐車場
 - 温泉
 - 木道
 - 未舗装路
 - 主要地方道
 - 都道府県道
 - 国道

コースの見どころ
このコースは、旧有島農場や町の歴史の跡、第2カシュンベツ川沿いを歩きます。羊蹄山やアンヌプリ連峰の眺めと、自然を感じる未舗装の道も多く、緑豊かな環境の下、散策を楽しむことができます。



- 1 ニセコ駅**
明治37年(1904年)に「真狩駅」として開業。現在の駅舎は、高原の町にふさわしいはずまいにと、スイスの登山駅舎を参考に昭和41年(1966年)に完成しました。
- 2 小説「親子」の坂**
「農場の事務所に通するには凡そ一町ほどの険しい赤土の坂を登らなければならぬ」「有島武郎「親子」より)。この坂を表した文章と現在の情景が重なり当時の状況が思いおこされます。
- 3 宮山**
弥照神社は当初、宮山にありました。しかし人家から離れており、雪中に小樽〜函館間を徒歩で通行する浮浪者が宿泊するなど、不用品であったため、大正5年(1916年)に現在地へ移しました。
- 4 弥照神社(いやてるじんじや)**
大正11年(1922年)、有島武郎が小作人を集め農場解放の宣言をした場所。地主による農地の無償開放という、当時世間を驚かせた出来事は、この小さな神社の社が舞台となりました。
- 5 有島解放記念碑**
大正13年(1924年)建立。小作人たちが有島武郎の農場解放への感謝の意を後世に伝える為に製作を計画。武郎が小作人に請われ準備した許可を得ることは、体制批判として官の許可を得ることができませんでした。
- 6 有島記念館**
ニセコの地で歴史的な農場解放を実践した有島武郎に感謝の意味を込め、建設されました。館内では武郎の生涯と有島農場のあゆみを貴重な資料を通して紹介しています。
- 7 道の駅ニセコビュープラザ**
観光案内の窓口や特産品の販売、店舗販売の飲食店などがあり、なかでも地元農家による農産物直売所は新鮮さ、種類の豊富さ、価格の安さが口コミで広まり、人気となっています。
- 8 綺羅乃湯(温泉)**
駅前地域の活性化を目的として平成13年(2001年)に開業。館内には食堂や無料休憩室もあり、町民の憩いの場となっています。
※定休日:水曜日(祝日の場合は翌日)

1:8400
0 100m 200m 300m 400m 500m